

教授 **佐藤 健二** SATO, Kenji

1. 略歴

- 1981年 3月 東京大学大学院社会学研究科修士課程修了
- 1983年 3月 東京大学大学院社会学研究科博士課程中退
- 1983年 4月 東京大学教養学部助手
- 1986年 4月 法政大学社会学部専任講師
- 1988年 4月 法政大学社会学部助教授
- 1994年 10月 東京大学文学部助教授（東京大学大学院社会学研究科担当）
- 1995年 4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授（文学部担当）
- 2000年 4月 同研究科文化資源学専攻助教授（形態資料学専門分野）併任
- 2005年 3月 博士（社会学）学位 東京大学
- 2005年 9月 東京大学大学院人文社会系研究科教授（文学部担当）

2. 主な研究活動

a 専門分野

文化の社会学、社会意識論、社会学方法論、社会調査史

b 研究課題

概要

- (1) 歴史社会学の思想と方法。一つの基礎資料としての柳田国男を中心とした全集の編纂。
- (2) モノとしての書物をモデルとしたメディア文化の地層分析。読書空間論。
- (3) 社会調査の社会史。日本近代における調査の実践と方法意識の展開について。
- (4) 文字テキスト以外の資料へのテキスト概念の可能性の拡大。かわら版・新聞錦絵データベースの実験、など。

c 主要業績

(1) 著書

単著、佐藤健二、『ケータイ化する日本語：モバイル時代の「感じる」「伝える」「考える』、大修館書店、2012.7
その他、山本泰・佐藤健二・佐藤俊樹、『社会学ワンダーランド』、新世社、2013.5

(2) 論文

佐藤健二、「柳田国男と「写真」、緒川直人・後藤真編『写真経験の社会史：写真史料研究の出発』岩田書院、149-181頁、2012.5
Kenji SATO、「Sociology of Culture in Transition」、『International Journal of Japanese Sociology』、Number22, March、32-40頁、2013.3
佐藤健二、「都市生活の光と蔭：浅草十二階が与えた視覚と想像力』『思想』14(4)、166-186、2013.7
佐藤健二、「渋沢敬三におけるもうひとつの民俗学』『歴史と民俗』30、67-97、2014.2

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

静岡県立大学非常勤講師（2012年度～2013年度）、立教大学非常勤講師、奈良女子大学非常勤講師（2013年度）

(2) 学会

日本社会学会、社会調査協会

(3) 国際会議

渋沢敬三記念国際シンポジウム「もうひとつの民間学：知識人・文化人としての渋沢敬三」2013年9月7日開催
（於：東京大学福武ラーニングシアター）